

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

February 2018

Écoutez Bien Vol.35 No.399

2

国語研の新所長にご挨拶



表紙の人／エコー株式会社三代（羽衣町）

続・砂川深層 14

残堀川の 移り変わり

案内人：豊泉喜一氏

私たちの住んでいる武蔵野台地は、青梅を扇の要として東京湾に向かってなだらかに傾斜する扇状台地。ここを流れる河川は多摩川や入間川のようにほとんど東西方向に流れているが、残堀川は台地を横切って南北方向に流れる数少ない川である。この川の成立については、西多摩郡瑞穂村から砂川・立川を横断して、国立市谷保の南養寺に至る「立川断層」に沿ってできたとも言われていたが、平成27年5月16日リスルホールで行われた講演会で、東大地震研究所の佐藤比呂志教授が立川断層は存在しないと報告され、断層による成立ではなくなった。

承応3(1653)年、玉川上水開削の折、当時砂川三番付近で南北に流れる残堀川と交差することになり、この時残堀川を玉川上水の助水として接続するため、川筋を砂川一番組付近に移動。その結果、砂川三番から下流部分の残堀川は廃止され消滅した。この時残堀川が残っていたら、飛行場北部を通り立川女子高校付近から羽衣町を経て谷保の南養寺付近で多摩川に流入していたはずである。それ以来残堀川は250年余りの間、玉川上水の助水として流入していた。

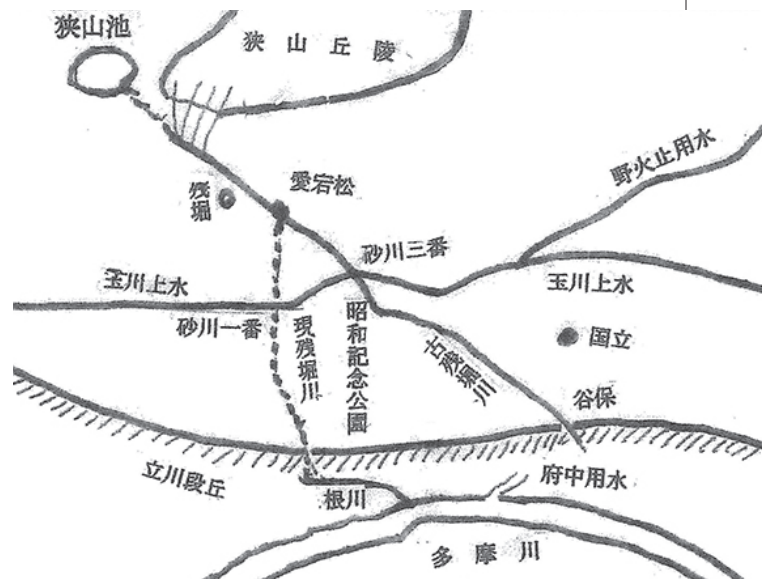
元々残堀川は一面の畑や山林の中を流れているため、雨が降る都度周辺の土砂や汚水が流れ込み、飲料水である玉川上水の水が汚れるとして、明治41(1908)年、東京府は残堀川を直接多摩川へ接続させる計画を立てた。当初計画では、砂川から現昭島市の郷地付近を通す計画であったが、立川村で誘致運動をおこし現在のルートに決まったようである。この工事を立川村は16,000円で請負い、7,000円の利益が出てそれを学校建設に充てようとし、更に1,000円ほどの不明金が出たとして、大紛擾が起きたと現在の週刊誌にあたる「週刊多摩新聞」に取り上げられ報道されている。

更に残堀川は昭和36年にこの地域に進出したプリンス自動車(後の日産)工場の建設により、江戸時代玉川上水に接続のため変更した水路を更に西に移動、現在の位置に変わったため川筋は大幅に西へ移動した。この結果、今は使われなくなった江戸時代に掘られた旧残堀川がそのまま残っているので、貴重な遺跡として何とか残したいものである。

昭和38年、それまで玉川上水の下を流れていた残堀川を上下逆転し、玉川上水を伏越工法により、残堀川の下を流す工事が行われ、この場所では玉川上水の流れが突如消え、残堀川を潜り再び現れるというサイフォンの原理による流れが見られる。

ここからの残堀川は、一番町と上砂町の境界を南に流れ、更に昭島市との境界に沿って昭和記念公園の中を通り、青梅線西立川駅東に出て、富士見町3丁目滝の上で旧根川に接続し多摩川に合流している現川筋は、今から110年前の明治41(1908)年に新しく掘られた川である。

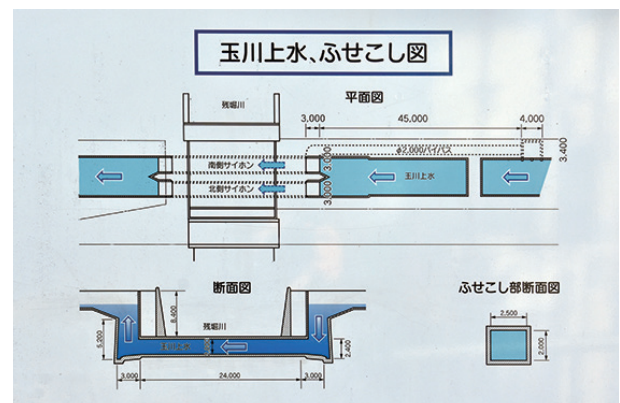
残堀川変遷図(豊泉喜一氏作画)



市道2級17号沿い下砂橋遊び場に隣接したところにある旧残堀川(江戸時代に掘られた場所)



一番町と上砂町の境目 残堀川にかかる橋と玉川上水にかかる橋がスクエアを作っている



ふせこし(サイフォン工法)。残堀川の下を玉川上水が潜っている。

国語研の 新しい、所長です

田窪行則さん

2017年10月1日から国立国語研究所の所長に着任した田窪先生。
人見知りといいながら、実に味わい深い面を見せてくださった。

——先生はとっても京都っばいとお見受けしていたのですが、岡山なんですね。

田窪 全然京都っばくないです。岡山は文化圏が関西ではないので、関西人ではないです。兵庫までが関西で、岡山に行くところ中国地方。あるいは文化的には東京の方を向いているんです。だから言葉も、2モーラまで、ひらがな2つくらいだったら東京のアクセントに近い。だから関西弁ではないです。

——先生は、英語も韓国語もおできになるんですね。外国人に日本語教えたり、日本人に韓国語教えたり。すごい。

田窪 神戸大学で8年間日本語を教えていましたが、疲れちゃって。日本語教師って大変なんです。ずっと笑ってないといけない。ブスツツしたり、怖い顔していると、緊張して日本語を学んでくれないんです。楽しそうな雰囲気を出す。そのためにはこっちが楽しそうにしていなといけないんです。落ち着いた感じにするとかね。毎日落ち着いてもいられないし、毎日楽しくもないじゃないですか。だから毎日楽しそうにすると、とっても疲れるんですよ。日本語教師ってハイテンションな人が多いんですけど、それも疲れますよね。

——そういうのって病気になりませんか？

田窪 最後の1～2年はもういやになって、内地留学とか内地研修というのがあって、それで博士論文を書くつもりで京大に行ったんですが、半年で論文を8本書いたところで気持ちがおかしくなつてね。燃え尽き症候群みたいな状況で、医者に行ったんです。ちょっとした検査で「ただ疲れているだけだ」ということだったので、もう論文はいいやと思って自動車学校行って楽にしました。

——免許取りに行ったんですか？

田窪 自動車学校は普通、免許を取りに行くんで、それ以外で行く人はあんまりいない。京大の総長でもあった長尾真先生が様子を見ていて、ちょっとアメリカに行って来たらと言ってくださって、アメリカなら運転できないといけな

いなあと思ひ免許を取りに行ったんです。

——ああ、そういうことですか。

田窪 免許を取りに行ったのですが、歳とってから行ったのであまりうまくいかなくて。出発直前に免許取得したので、いわゆる国際免許をとる暇がなくて、結局運転はしなかった。一緒に行った先生が運転するのをずっと見ていました。

——で、燃え尽き症候群はどうなったんですか。

田窪 アメリカに行って、9か所くらい大学を見てきたんですが、ボストンである先生のお宅に邪魔したら、その日のうちに治ってしまっ

て。それでそのお宅で論文一晩で仕上げました。結局論文を9本書いて業績が溜まったので、九州大学からお声がかかりました。

——九州大学と言えば、国文研の元館長今西祐一郎先生も九州大学でし、キャンベル先生もいらしたことがありますよね。

田窪 今西さんは京大の先輩でもあり、よく存じ上げています。キャンベルさんとは3年くらい重なるんですよ。

——先生はご自分のプロフィールを面白く語ってくれますが、ハローワークに行ったって本当ですか？

田窪 京大に15年半いて退職した時、うちの奥さんがハローワークに行って職を探して来い

と言われたので、本気かなあと思っていたら本気で。でもハローワークには失業保険をいただくために本当に行きました。

——大学の先生をしてこられた方で、そういう話をされた方は他にいませんよ。

田窪 いやあ、僕もそう思っていたんだけど。で、国語研に来る前に1年間、同志社で韓国語教師をしたんです。英語教師をしたかったのですが、誰も雇ってくれなくて、同志社だけがやさしくて「教えさしたる」ということで。韓国語の初級を教えました。これも疲れしました。学級崩壊するんです。

——大学ですよ？

田窪 同志社ですからね、優秀な大学なんですけれど。大学の学級崩壊は多いですよ。元気がいいというのと、崩壊しているというその2つがあるんです。同志社は2回くらい叱るところでは、なかなか事態は難しいですよ。京大あたりだと、先生より学生の方がよくできることがあるので、バカにされないようにしないといけない。

——えくてびあんで、国文研、統数研、極地研と親しくお付き合いさせていただいて、街の人とつないでいくお手伝いをさせてもらっています。こちらも面白く街と交流できると思います。言葉は面白いと思いますが。

田窪 なかなか。言葉のことを面白がってくれる人はそういないですよ。講演会などもやっているんですよ、ちょっと専門家向けになってしまっているかもしれないけれど。病院の言葉の言い換えもそうですが、震災の時に方言がわからなくて病院でずいぶん苦労したと聞きま

田窪行則 氏

両親は愛媛県伯方島出身。一家で植民地時代の韓国にいて、終戦後日本へ引き上げる。父親の仕事の関係で岡山県玉野市へ。長兄はソウルで、次兄は伯方島生まれ、自身は岡山県で生まれる。大学から京都へ。言語学を専門にし、大学院博士課程まで進み韓国へ。日本語と言語学を2年間教え、神戸大学教養部で8年間日本語教師を務めたのち、九州大学で、言語学を教える講師を務める。9年半の九州生活の後、京都大学で15年半。その後現職。立川には単身赴任中。

した。東北の方では辞書も作りましたね。方言でこの辺が痛いと言うのを、共通語だったらシクシクとかズキズキとか言ったりしますが方言だと違いますから。

——立川の方言は国語研の研究者の方と地元の方とで一緒に本も出されています。

田窪 方言は、周囲の方言の中でどう位置付けられるかがわかって、歴史的にある程度までさかのぼれるんですね。立川のアイデンティティがわかってくるわけです。

——先生、ご自分の研究もおありでしょうが、ここでは運営もお仕事ですよ。

田窪 基本的に運営だけです。自分の研究はあまりできません。来年国語研は創設70周年を迎えます。また大学共同利用機関法人 人間文化研究機構に所属してまもなく10年なんです。両方同時にお祝いすることになっていま

す。

——では、さらに街との関わりを強くしていきたいところですね。

田窪 国語研では、一般の方との交流ということでは、印刷会社の方と一緒に絵本と文字を組み合わせたりとか、子ども向けワークショップで漢字を崩して自分専用の文字を作るといったお遊びもしています。またいろいろなコーパスが展開されているので、どうやって使うかは検討が必要ですが、コンテンツはたくさんあるのでうまく広報していきたいですね。

——先生ご自身のご研究は琉球の方言ですか？

田窪 もともと理論言語学なのですが、機械翻訳とかのベースになるものを提供してきました。琉球の言葉はある日突然、宮古島の池間島というところに調査に行くことになって以来、ずっとやっています。最初の頃は年に8回以上行っていました。

——調査ってどんなことするんですか？

田窪 いろいろ動くのではなく、ひとつの場所で調査します。池間方言を話している宮古島の西原地区だけに10何年か通っています。言葉を話してもらって、それを書き起こして、そこに出てくる表現とか、文法を記述して辞書を作ります。それから談話テキスト冊子を作る。自然談話です。これが3点セットと呼ばれていて、学生と一緒にチームでやっていますが、学生が文法を書いて、僕たちが辞書を作る。

——いつできるんですか？

田窪 文法はもうできました。辞書は4000語ぐらいの辞書を作成中で、共同研究をしているUCLAの先生と話者の方と3人で週に一回スカイプミーティングをしながら校正中です。談話資料は900時間くらい録って、そのうち9時間分を書き起こしてwebページにアップしてあります。デジタル博物館というサイトで、<http://www.kikigengo.jp/>から辿ると見られます。もともとは世界中の言語を入れるために作ったものです。

——宮古島って聞くとお酒がおいしいんじゃないですか？ 泡盛。

田窪 泡盛の蒸留所、池間酒造というのですが、その社長さんから方言を教えてもらいました。それ以来たくさん購入しています。おいしいですから。

——国語研さんは広辞苑第七版にも関わっていらしたそうですね。

田窪 はい。実際に編集に絡んでいたと思います。先日、編集に関わっていた方に話を聞いたのですが、よく飲む方で、一緒に飲みすぎて聞いたことが記憶にない。忘れてしまいました(笑)。本人に聞けばわかります。

——先生も先ほど池間方言の辞書とおっしゃっていましたが、辞書の編集は大変でしょう？

田窪 言葉を選定することに時間がかかりますし、語義とか文法をどうするかとかにも時間がかかります。用例を作るにも時間がかかります。用例は、作例だとなかなか浮かばないですよ。聞いた話ですが大阪大学の金水 敏さんってご存知ですか？ 彼がまだ学生の頃、用例を作るのに「緊縛」という項目が当たったそうです。当時はまだ若いから思いつかないわけですよ。それで「自転車の荷台に荷物を緊縛する」という用例を作って先生に怒られたと言っていました。今だったら、少し色っぽい小説に出てきそうな言葉ですよ。最近は作例ではなく実例をとてくることができます。書き言葉コーパスには1億語くらいありますし、webコーパスは200億語ありますから、そこから選べばいいんです。

——手軽に言葉を検索できる時代、重い本の形をした辞書が必要だと思いませんか？

田窪 広辞苑は売れてしまうんですね。京都に新村出記念財団というのがありますが、それ



は広辞苑の印税で作られている財団なんです。新村出さんは大先輩であり、言語学会の初代会長で広辞苑を編集した人。財団では言語学関係の優秀な若手に賞を贈っています。でも、総じて辞書は売れない時代になってきていますよね。それでも漢字はある程度の読者層があるんです。阿辻哲次さんの文章なんて、漢字ひとつひとつの来歴を社会的なものに絡めて書いてあって、とっても面白いですよ。

——どこで目にできますか？

田窪 日経に連載しているものを読むか、彼のフェイスブック。彼やキャンベルさんくらい文才があると面白いんですけどね。キャンベルさんのフェイスブックは面白い。

——そうですね。猫の話も多いですけど(笑)。これからの辞書ってどんな風になっていくと思いますか？

田窪 AIの時代に入って、自動翻訳はだいたいもう終わっていますが、いろいろなところで自動処理しようとする、事の「事典」ではない言葉の「辞典」と、きちんとした百科事典的知識が必要になってきます。現在の日本の辞典では言葉の説明が弱いので、外国人が日本語を勉強しようとするときには不十分です。欧米の辞典は言葉そのものをきちんと説明できているので、とても分かりやすいし勉強しやすいです。国語研では、外国人学習者のための日本語の基本辞書を作っているの、その点がこれからどんどん改善されて良いものができると思います。

中国 お母さんの味

本格手作り中華まん 金包堂 きんぼうどう

「私たちは、これとお粥を朝ごはんに育ちました」
店長の鄭さんと、熟練職人の高さんと。
ふたりが作るのは、素朴で懐かしいお母さんの味。



店長の鄭さん（左） 熟練職人の高さん（右）

2017年11月28日に開店1周年を迎えた。今年は試練の2年目になる。いつの間にか一部で「立川の中華街」と呼ばれるようになった錦町1丁目、WINS通り。そこに、間口が1間あるかないかの小さいお店、それが金包堂。開店当時は「特製肉まん」「うま辛まん」「肉野菜まん」の3種類しかなかったが、1周年を迎えた時には、中華まん以外にも小籠包、焼売、蒸し餃子までメニューに加わった。スイーツ系の「卵黄まん」を頼んでみると、カスタードクリームともプリンともちょっと違う。さっぱりしているのに濃厚。聞けば香港スイーツなのだそう。肉には厳選国産豚、うま辛まんの春雨はサツマイモが原料のチャプチェ用。ベタベタしないプリプリ春雨は高菜との相性がいい。肉野菜まんはピーマンの香りがオシャレで、食後もおなか軽い。

「日本の肉まん、食べました。おいしいんです！でも皮が甘くておやつですね。うちの肉まんは日本のおにぎりのようなもの。ご飯なんです」と鄭さん。ご飯と言うなら、〈白

むすび(塩おにぎり)〉のような饅頭がおススメ。具が入っていない。ふわふわの皮だけの饅頭。それだけ食べてもおいしいし、おかずと一緒に食べてもいい。まさに中国のお母さんの味。立川じゅうの人に食べてもらいたい、とふたりは毎日頑張っている。



シーズンは寒い冬。おいしく食べてもらおうと、お客様の出足を見ながら蒸したてを提供している。



特製肉まん：一番人気！薄皮で 肉汁がしたたる本物！



うま辛まん：ピリッと辛くて、高菜の香りと春雨の食感がいい。



肉野菜まん：セロリとピーマンの香りがくせになる、軽い中華まん。



あんまん：手作りのあんこがまわりのふわふわ皮とベストマッチ。



黒ゴマまん：おなかいっぱいでも手がでてしまう。



しっとり卵黄まん：食感とはろ〜りでもプルプルでもありません。



えくてびあんが大好きな皮だけの饅頭。熱々ふわふわを召し上がれ。



せいろで蒸し上げる焼売。お肉のおいしさがギュッと詰まっています。

※他にも黒砂糖まんや完全予約制の蒸し餃子、テイクアウト不可の小籠包があります。

えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にあります。 今日は 錦町・柴崎町・立川市外 のお店です。	
錦町 至誠学舎立川……………527-7734 至誠ホーム……………527-0031 至誠介護相談センター……………527-0321	
●柴崎町 諏訪神社……………522-2968 毎日新聞社グループ(株) 毎日広告社 522-6121 パスタビーノ はしや……………521-3386 高島ビル……………526-0111 Hair Room MOON ZETTON 523-0961 南武学剣道具店……………527-0197 ビジネスホテル 小沢屋……………523-0388 おしゃべりカフェトーク・スペース 527-1636 ESBI 立川南口店……………526-2947 タイ アヨタレレストラン……………595-7295 (株) 一心堂……………527-3777 すがの歯科……………540-2675 紙匠 雅……………548-1388 あすなるクリニック……………529-2756 ピストロこぼ……………525-9929 入船茶屋……………524-6266 チーズフォンデュと欧風料理 クトロ 528-2983 串場割烹 トントン……………524-4521 Pasta Frolla 立川南口店 540-8033 不動産 コマツホーム……………525-5811 芹沢ガラス店……………522-3065 かみゆい処 わ……………522-8202 ファッションハウス ホマレヤ 525-2788 ホテル ほまれ……………523-0588 ヘアサロン オオヌキ……………528-0809 中国四川料理 山城……………512-8356 酒歩 たから……………528-1510 服地・洋裁材料 藤レディース 528-5101 純中国料理 北京大飯店……………522-6393 リサイクル着物 着楽堂……………523-9702 天婦羅・うなぎ 良銀……………522-6702 ギャラリー きらら……………522-3913 生活雑貨 EAST END……………523-9636 特むし銘茶・海苔 菊川園……………526-2035 ジョイフルプラザ……………0120-29-2775 めん心 堤屋……………525-6602 hoccori* café……………595-8379 立川わかば整骨院……………526-8518 (株) 立川紙業……………527-6111 中華小皿料理 得得屋……………528-1060 Fashion You Me……………523-1640 石原薬局……………523-4067 B級食堂 相模屋……………525-9478 ティーコジー……………525-6366 サイクルハウス 輪輪館……………522-8100 ひがしミート……………522-6266 (株) 正盛堂……………522-2328 小林歯科クリニック……………527-8217 ビューティーサロン ウィスタリア 527-1116 オリオン書房 サザン店……………525-3111 ピストロ&バル ラボール……………529-3088 WISH BONE……………527-7199 三船クリニック……………523-6693	
●立川市外 昭島市 ECO'S 昭島店……………546-3710 武蔵村山市 中国料理 菜……………561-7233 国分寺市 パンの店 fermata……………534-3334 小金井市 ONLY FREE PAPER	

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄はスマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。

J:COM 多摩：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

「絆カード」で総務大臣表彰

2017年11月20日に東京国際フォーラムで地方自治法施行70周年記念式典が開催され、立川市自治会連合会が地方自治施行70周年総務大臣表彰を受けました。2014年には「絆カード」による災害に強い地域づくりの活動で東京都の「東京防災隣組」にも認定されています。今回東京都内の民間団体で受賞したのは、立川市自治会連合会を含め3団体だけ。萬田和正会長は「立川市の自治会加入率は年々低下傾向にあるが、起こりうる災害や非常事態においては、地域のつながりがとても重要。単身家庭や学生、高齢者世帯と自治会活動参加が困難な方々でも無理なく参加できる制度も備えてあるので、ぜひ加入して地域との絆を深めてほしい」とおっしゃっていました。

八王子隕石と曽根隕石★

国立極地研究所を中心とした研究グループは国文学研究資料館などのサポートを受けて、「八王子隕石」とされる隕石を初めて詳細に分析しました。1817年12月29日、現在の八王子市中心部に多数の隕石が落下。様々な史料にその日の様子などが記されています。京都の土御門家の古典籍から「隕石之事」と書かれた紙に包まれた約0.1gの隕石小片が見つかり「八王子隕石」とされてきましたが、同じ包みに「曽根隕石」について書かれた紙も入っていて「曽根隕石」である可能性も否定できませんでした。「曽根隕石」とは1866年6月7日、現在の京都府京丹波町に落下した約17kgの隕石です。この度、最新の技術で「八王子隕石」小片を分析した結果、小片は「H5 普通コンドライト」という種類の隕石で、「曽根隕石」との違いは見出されませんでした。「曽根隕石」との違いが見つければ、この小片が「八王子隕石」である可能性が高まったのですが、200年前にたくさん降った隕石、八王子の旧家などを探せばまだあるかもしれないですよ。

立川ダイスとアルバルク コラボ社会貢献★

2017年12月17日(日)、アリーナ立川立飛で行われたアルバルク東京vs栃木ブレックスの試合があった日、アリーナコンコースでくアルバルク東京&TACHIKAWA DICE プロジェクト「HANDS TO HANDS」）が実施されました。これは立川の3人制バスケットボールチームTACHIKAWA DICEの劉生マネージャーが始めたバスケットボールを通じて世界中のバスケットファミリーをサポートすることを目標にした活動です。この活動にアルバルク東京も協力。たくさんのシューズやウエアとともに、寄付金18,300円が集まりました。はるばる栃木からも寄付品をお持ちになった方もいらして、すてきな社会貢献コーナーとなっていました。

人間写真家 細江英公 写真展

えくてびあんの表紙を11年間撮り続けてくださった写真家 細江英公先生の「旭日重光章」受章記念写真展が開催されます。日時は2018年1月22日(月)～3月23日(金)まで。10：00～20：00、期間中無休で入場無料。場所は東京工芸大学 写大ギャラリーで。約50点の白黒・カラー写真作品が展示されます。

首位をキープ アルバルク東京★

まだまだ立川に浸透しているという感じを受けないバスケットボールですが、よくわかっていない方も、観戦してみるととても面白いのがバスケット！2017年秋からホーム試合30のうち26試合をアリーナ立川立飛で戦っているアルバルク東京。Bリーグ B1の東・中・西と分かれている東地区に所属する。12月末時点で東地区首位を保っています。この次アリーナ立川立飛で試合が行われるのは2018年1月27日(土)と28日(日)。滋賀レイクスターズと対戦します。2月10日(土)と11日(日)は川崎ブレブサンダース戦。ホームですから、みんなで応援して優勝へ！

★印のついている記事は、えくてびあんのブログ「立川は Ecoutezbien えくてびあん」に詳しく掲載されています。



立川市自治会連合会会長 萬田和正氏

田中利雄氏、スポーツ振興功労賞★

2017年11月29日(水)、「平成29年度東京都知事表彰(スポーツ振興功労)田中利雄氏 受賞記念祝賀会」が盛大に開催されました。東京陸上競技協会副会長の田中さんは、昨年えくてびあん10月号のインタビューコーナーにご登場いただいた方。「親分みたい」とインタビューにも記しましたが、来賓のご挨拶に何度も「親分」の言葉が。立川の、東京の、日本の陸上界を力強く引っ張ってこられた方なのですね。



Fuji 赤とんぼ保育園 竣工しました★

企業主導型保育施設として多摩モノレール立飛駅近くに登場したFuji赤とんぼ保育園。本年1月11日、竣工式が行われました。作ったのは立飛ホールディングス。立川飛行機株式会社が製造していた練習機 通称「赤とんぼ」の翼をイメージした園舎です。屋根の赤と緑のライトは、その横にある点滅するライトと共に、夜間飛行を想起させます。運営は「世界一楽しい幼稚園」と言われるふじようちえん 学校法人みんなのひろば。開園は2月です。



おじゃましま～す! ——[61]

ピーピー K 70

お店の名前は「ピーピー K 70」。ヒヨコみたいなイメージですが、その名が意味するところは「ぴんぴんコロリ」とちょっと刺激的!「70」はお店のスタッフが70代ということ、スタッフもお客様もご年配。もちろん若い方も子どもでも入れます。富士見商店街の入り口にあって、きれいで明るいカフェは、「みんないつまでも明るく元気でいようね!」という雰囲気のお店なのです。メニューはそんなにたくさんはありません。その日の定食(700円)がメインです。コーヒーや紅茶はもちろん、ちょっと粋なのは手作りジェラートがあるところ! 夏にはトウモロコシ、今の時期は焼き芋のジェラートがおススメ。定番は塩ジェラートとほうじ茶ジェラート。甘さはサラッと、たっぷり入って380



円。2種類選んでダブルにしても430円です。もともとは、八百屋さんがなくなってしまった富士見商店街に、野菜が買えるところという希望があって始まったお店。だから柴崎町産の野菜も売っています。富士見商店街コーナーには店売りを止めてしまった信濃屋さんのおせんべい、ご夫婦で頑張っているむぎこ製パン所の調理パンが並んでいました。メニューより大事なのは会話です。若くても年をとっても、行ける場所があるってありがたいことですよね!



〒190-0013
立川市富士見町 2-11-21
TEL 042-525-3623

営業時間
11：00～18：00



表紙の人

宮澤公廣さん、公栄さん、栄斗くん

エコア株式会社は、人の生活に関わるあらゆる環境問題に取り組む会社です。例えば住環境、例えば食の安心安全、例えば建物の管理など。社員の皆さんはたくさんの資格を取得して、言わば環境のプロ集団。東京都公害監視委員も務めた創業者の公廣さんには環境への熱い思いがあり、それが確かな哲学となって講演・著書多数、この道50年の専門家です。「人は生かされて生きているのであって、凡人でも志があつていいのではないか」とおっしゃいます。その志を引き継いだ現社長の公栄さんは、国際審査員登録機構(IRCA)のISO22000主任審査員・ISO9001主任審査員として審査活動をされ、企業や工場など現場の環境改善、食の安心安全のため日本全国、海外へと飛び回っていらっしゃいます。3代目になる栄斗くん、2所帯3世代同居でおじいちゃん、お父さんの志をしっかりと引き継がれることでしょう。撮影は国分寺市のご自宅です。すばらしいご家族でした。

かたこと

◆穏やかに年明けを迎えた立川です。新年もすでに半月以上過ぎました。えくてびあんは相変わらず、太陽や月の動き、山並みなどを追いかけています。立川から見える富士山には、今年は心なしか雪が少ないように思います◆一方、立川の街に目をやると、今年もいろいろなイベントや動きがありそうです。街づくりが一步進んで、人の流れが変わるかもしれません。オール立川でという動きの中に、国立こくりつの研究機関も入って文化面でも強い立川になることを期待します◆歴史があつて今がある。砂川だけでなく立川全体の歴史も、改めて学び直したいと考えています。折しも真如苑さんは初めてのお堂ができて80年。南口の変遷を詳細に知るチャンスかもしれません◆えくてびあんも創刊35年を迎えています。「立川と語ろう 立川に生きよう」がえくてびあんの合言葉。今年も立川と共にまた1年、多摩でばこネット共々、どうぞよろしく願い申し上げます。

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑨

2月号 第35巻 通巻399号

平成30年2月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町 2-1-10 高島ビル 4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://ecoutez.exblog.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

洋菓子 プルミエル

西砂町にあるお菓子の家のようなお店。イートインコーナーもあります。自家製かりんソーダやジンジャーエール、パフェもいただけますよ。



Tasty! 立川スイーツ ①

Bリーグアルパルク東京の #10 ザック・バランスキー選手と #13 菊地祥平選手が、日本スイーツ協会より「スイーツコンシェルジュ スペシャルアンバサダー」に任命されました。生活にスイーツが欠かせないおふたりに、これから約半年間、立川スイーツを紹介してもらいます。

今回は、西砂町にある洋菓子のプルミエルから、立川のお土産推奨認定品でもある〈立川産レモン果汁の立川レモーネ〉と〈五日市街道 けやき並木のリーフパイ〉。それにザック選手と菊地選手のお好きなケーキをご紹介します。



「僕、チョコレートが好きなんです。このフランボワーズとの相性がいいですね。ちょっと酸味があって。おいしいです」



「うまい! 上にかかっているのは何だろう。香りがすごくいい。ふわふわでおいしいです」



ザック 「この上にかかっているレモンのチョコレートがすごくおいしい」

菊地 「サクサク感がいい。これ何枚でもいけますね」